事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
996	産地育成事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	3	農林水産業の活性化
施　策	1	農林業の振興
取組方針	1	担い手の育成・確保

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農業振興費		
	大事業	農業振興事業		
	中事業	産地育成事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	農林水産課	中兀　成浩	435-1049
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要
事業目的	本市の産地の育成を図る。	豊かな産地の育成を図るため、農産物の生産振興及び産地強化に向けた取り組みを行う。

事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	農業用井戸の設置、農業用施設の高度化等を行う事業（県事業への上乗せ補助）に助成する。	農業用井戸の設置、農業用施設の高度化等を行う事業（県事業への上乗せ補助）に助成する。	農業用井戸の設置、農業用施設の高度化等を行う事業（県事業への上乗せ補助）に助成する。	農業用井戸の設置、農業用施設の高度化等を行う事業（県事業への上乗せ補助）、有機農業等をはじめとした環境にやさしい農業の取組に助成する。	農業用井戸の設置、農業用施設の高度化等を行う事業（県事業への上乗せ補助）、有機農業等をはじめとした環境にやさしい農業の取組に助成する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,738	3,260	6,000	5,650	5,500	3,426	5,608	0	5,608	0
伸び率（%）		△29.3%	△98.6%	60.5%	73.3%	△8.3%	△39.4%	2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,937	4,618	4,034	4,422	3,890	3,740	3,890	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,937	4,618	4,034	4,422	3,890	3,740	3,890	0	0	0
国庫支出金		0	0	3,000	2,825	2,750	1,713	2,504	0	2,504	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	450	0	450	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		3,738	3,260	3,000	2,825	2,750	1,713	2,654	0	2,654	0
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.58	0.52	0.57	0.52	0.50	0.52	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		野菜等産地化推進事業補助金　１，５００千円、次世代野菜花き産地パワーアップ事業　４，０００千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
活動指標	広報媒体数	媒体	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	4		
			達成度(%)	60%	80%	80%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	井戸の設置本数	本	目標値	36	30	30	29	29
			実績値	28	23	23		
			達成度(%)	86%	77%	77%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	農業用井戸の設置への助成については、順調に推移していたが、近年では、活用件数が減少している。 しかし、活用を希望する相談件数は一定数あることから、多くの需要はあるものと考えており、重要な取組と考える。 また、機械設備への導入や施設への支援については、農業経営の安定化を図ることにより、担い手の育成につながることから、重要な取組と考える。
見直し・改善内容	農業用井戸の設置への助成に係る制度のさらなる周知を図るとともに、ＪＡわかやまとさらなる連携を行い、潜在的な需要の掘り起こしを行う。 また、機械設備の導入や施設への支援に係る制度については、県と連携を図ることで、効果的な広報を行い、活用を促進するなど、担い手のさらなる農業経営の改善に努める。